

平成 17 年 11 月 9 日

各 位

株式会社カネボウ化粧品

平成 17 年度 第 3 四半期及び 9 ヶ月累計連結決算について

下記の通り平成 17 年度第 3 四半期及び 9 ヶ月累計連結決算について、お知らせ致します。

1. 平成 17 年度第 3 四半期及び 9 ヶ月累計連結決算の概要 並びに 再生計画

- (1) 当四半期の連結売上高は 525 億円、1～9 月累計で 1,555 億円となりました。
- (2) 営業譲受に伴い発生した商標権等の償却費を控除する前の営業利益は 46 億円、1～9 月累計で 137 億円です。

【第 3 四半期(H17.7～H17.9)の連結経営成績】

(単位 百万円、百万円未満切捨表示)

	実 績	再生計画	差 異
売上高	52,547	48,164	4,383
売上原価	11,954	11,854	100
売上総利益	40,593	36,310	4,283
販売管理費 注1	35,902	33,616	2,286
償却前営業利益 注2	4,691	2,694	1,997

【9 ヶ月累計(H17.1～H17.9)の連結経営成績】

(単位 百万円、百万円未満切捨表示)

	実 績	再生計画	差 異
売上高	155,558	143,978	11,580
売上原価	34,808	35,435	627
売上総利益	120,750	108,543	12,207
販売管理費 注1	106,995	97,436	9,559
償却前営業利益 注2	13,754	11,107	2,647

注1. 販売管理費は、営業譲受に伴い発生した商標権等の償却費を除外しています。

注2. 償却前営業利益は、営業譲受に伴い発生した商標権等の償却費を控除する前のものです。

【平成 17 年度の再生計画】 (単位 百万円、百万円未満切捨表示)

	通 期
売上高	196,548
償却前営業利益	18,123

2. 連結の範囲

(1) 連結国内子会社 7社

カネボウ化粧品販売株式会社、株式会社エキップ、株式会社リサーチ、
カネボウコスミリオン株式会社、株式会社ジョゼ、他2社

(2) 連結海外子会社 13社

Kanebo Cosmetics(Europe)Ltd.、Kanebo Cosmetics Deutschland GmbH、
Kanebo Cosmetics U.K. Ltd.、Kanebo Cosmetics France S.A.R.L.、
Kanebo Cosmetics Italy S.P.A.、Kanebo Cosmetics U.S.A. Inc.、
Kanebo Cosmetics of Hawaii, Inc.、Shanghai Kanebo Cosmetics Co., Ltd.、
Kanebo(Shanghai)Sales Co., Ltd.、Taiwan Kanebo Cosmetics, Co., Ltd.、
Kanebo & Kumbi Cosmetics Co., Ltd.、Kanebo Cosmetics(Thailand)Co., Ltd. 他1社

3. 9ヵ月累計連結決算の概要

選択と集中化による「強いブランド創り」を掲げ、重点ブランドに対して引き続き集中的にコスト投下を推進致しました。その結果、重点ブランドでは前年比114.3%(新ブランドを除いても109.4%)の伸長を果たすことができました。

カウンセリング領域におきましては、ベースメイクブランド「レヴュー」のプロモーションが春、秋ともに好調に推移し、高伸長を果たしました。「テストイモ」は春の新商品を例年の1月度発売から前年の12月度発売に前倒し致しましたが、累計ではほぼ前年維持となり、事実上二桁を超える大幅な伸長となりました。

セルフ領域におきましては、ヤングセルフメイク市場No.1ブランドである「ケイト」の新商品がヒットし、更にシェア拡大につながりました。50代セルフスキンケア市場No.1ブランドとして順調に伸長している「エピータ」も秋にワンランク上の「EXライン」とベースメイクシリーズを導入し、更なる拡大を果たしました。毎年高伸長を続ける高機能サンスクリーンブランド「アリー」は当期も120%を超える伸長を継続、愛用者拡大に大きく貢献致しました。

また、昨年流通別営業戦略遂行のため新営業組織を設立し、約1年が経過致しましたが、流通別施策の浸透度と活動の機能性が高まっております。

その結果、9ヵ月累計連結売上高は1,555億円となりました。

以 上